

20 建 第275号

平成20年10月20日

国土交通省道路局長 様

福島県喜多方市長 白 井 英 男



今後の道路行政についての意見・提案の提出について（回答）

貴職におかれましては、日頃から本市の道路行政の推進に特段のご配慮を賜り、厚く御礼を申し上げます。

平成20年9月19日付国道企第37号で依頼がありました上記につきましては、本市からの意見・提案として、別紙のとおり回答いたします。

ご賢察の上よろしくお取り計らい下さいますようお願い申し上げます。

事務担当 喜多方市建設部長 真 部 久 男

電話 0241-24-5268

○国道整備事業の地方負担の軽減

- ・国道の整備について、直轄国道の地方負担金の軽減を図るとともに、補助国道の補助率を引き上げるなど、地方の負担軽減を推進すべきものと考えられる。

このことにより地方の財源確保が図られ、地方の道路整備が進むものと期待される。また、中央と地方の格差是正にもつながるものと考えられる。

特に、地方の創意・工夫を活かした個性的な地域作りのための地方道路整備臨時交付金制度並びに地方道路整備臨時貸付金制度の継続と拡充を強く要望する。

②-1 地域の現状と抱える課題

福島県喜多方市

○ 現状

・本市は平成18年1月4日に1市2町2村が合併し新喜多方市が発足しているが、旧山都町及び旧高郷村とは峠越えの往来となることから、市の区域が二分化されている現状となっている。

少子高齢化、過疎化の進行により、教育施設や病院等公共施設の統廃合が進み、住民の移動距離がのび、安全な移動手段の確保が重要になっている。

本市は、多雪寒冷地域であり、冬期間の降雪による道路維持管理に多額の費用を要すること。

また、住民の経済的負担もかなりの比重をしめることから、安全な通行を確保するために必要な施設整備

恵まれた豊かな自然資源の発掘と自然体験を目的とした回遊観光の開拓

均衡ある経済発展のために、冬季間でも途絶える事の無い交通網の整備

歴史的旧街道の保全と活用のための整備

○ 課題

旧市町村間を連絡する広域幹線道路の整備は、本市の一体化の醸成や均衡ある発展のためにも不可欠であり、早期な整備が望まれている。

(特に、国道459号及び主要地方道喜多方・西会津線の整備促進)

地域間を結ぶ通勤通学路に対する歩道の整備拡充。

冬期間の除雪体制の確立に要する費用の補助、融雪、消雪装置整備による安全な道路の整備拡充。

自然環境を体験できる回遊交通網の確保

確実な物資輸送が担保されるための道路整備と冬季間の除雪体制の確保

戦国時代からの歴史をもつ、旧国道 121 号線(旧大峠)が、市に移管される予定であることから、旧道を、観光資源並びに健康増進等に活用する目的の道路整備

○道路全体の有機的な連携の推進

- ・ 道路には、国土交通省所管と農林水産省所管の道路がある。

農林水産省所管の幹線林道は、本年度から「山のみち地域づくり交付金事業」により道・県が実施するとなっており、福島県においても事業実施に向け検討がなされているところであります。

現在、喜多方市行政エリア内においては、「飯豊・檜枝岐線」「米沢・下郷線」の2路線が計画されております。

「飯豊・檜枝岐線」においては、一ノ木区間と山都区間が着工され、一ノ木区間においては平成22年供用開始の予定であります。

この路線が供用開始されるのに合わせ、「国道 459 号線」においても、大型バスが通行できるような条件整備が必要であり、整備が進まなければ、喜多方市を中心とした広域回遊観光の妨げになるものと危惧されるところであります。

このように、「飯豊・檜枝岐線」「米沢・下郷線」「国道 459 号線」は、喜多方市の地域振興に大きく関連していることに加え、合併による地域間連結の生活路線として、新市の均衡ある発展と観光誘客を図る必要から、事業の早期完了が要望されております。

以上のことから、「山のみち地域づくり交付金事業」の着工と早期完成、さらには、それに伴うアクセス道路となる「国道 459 号線」の大型バス通行可能となるような整備促進が必要であります。

このように地域の将来にわたる整備に関しては、道路全体の有機的な連携の推進が最も重要になると考えられます。

今後の道路行政についての意見・提案

様式 ④

福島県喜多方市

③道路施策の重点事項(代表事例、期待する効果や評価等)

○ 重点事項	○ 代表事例	○ 期待する効果や評価等	○ その他
・地域活力の向上	道路全体の有機的な連携の推進 幹線林道と国道459号線の連携した整備の促進	年間を通して通行可能な交通網の整備と他県とを結ぶ新たな道路の開通は、過疎の一因となっている地域の閉塞感を解消し、新たに生まれる人と物の交流が。地域振興に大きく関連し、地域間連結による均衡ある発展へとつながる。 また、豊かな自然に恵まれた地域への観光誘客が図られ、地域の活性化及び経済力強化が期待される。	
・総合的な交通安全対策及び危機管理の強化	高規格道路網の整備(会津縦貫北道路、国道121号線の整備)	統合される県立病院への輸送路が確保され、渋滞等の解消による搬送時間の短縮が地域生活の安全性向上に貢献する。 当地方へのアクセスが飛躍的に高まり、地域経済の発展に大きく寄与する。 災害等の緊急輸送機能が飛躍的に高まる。	
・少子・高齢社会に対応した子育て環境、バリアフリー社会の形成	地域間を結ぶ通勤通学路に対する歩道の整備拡充。	学校等の統廃合により、移動距離がのび、交通弱者となっている歩行者にとっての安全な移動が確保される。	
・			
・			
・			